

2017.11.7

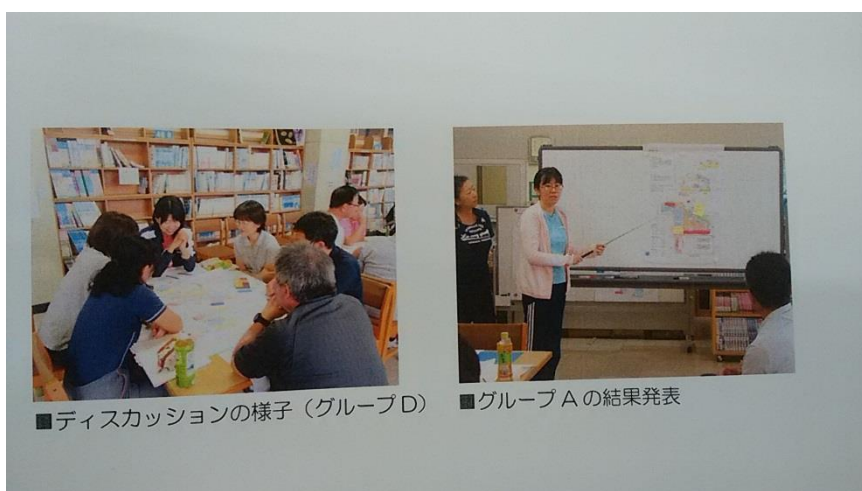
組合たより「伊達小学校改築基本設計業務委託」に関する 伊達小学校施設等検討委員会の開催状況報告

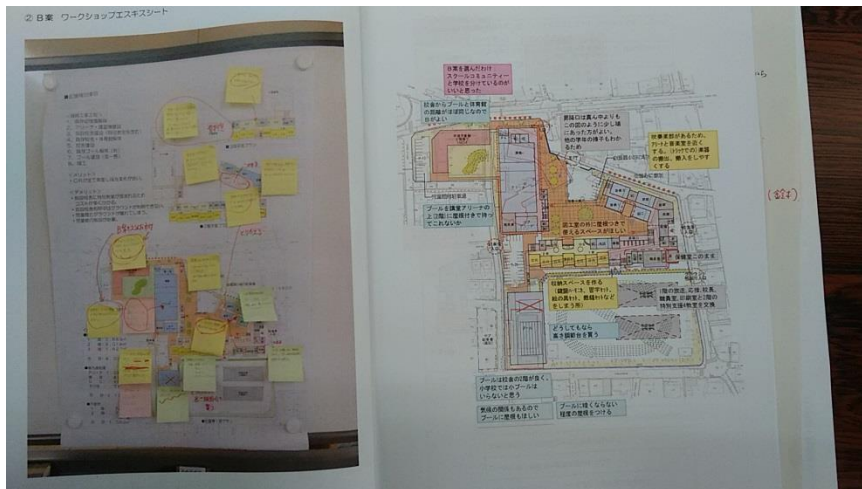
当組合では、業務に関連した関係者等との意見・要望等の協議・調整を行う際の会議等への参加や資料作成など発注者の技術支援を行っています。

11/7（火）に伊達市福祉センターで開催された「第7回伊達小学校施設等検討委員会」に参加してきました。伊達市より受注している「伊達小学校改築基本設計業務委託」の一環として昨年の基本計画策定時から継続して行われている検討委員会です。



今回は、8/30に開催した伊達小教職員による配置・平面ゾーニング（4案）に関するWC（ワークショップ）の結果報告と改善プランについて意見交換する検討委員会の開催で、WCでは、①土地利用と配置ゾーニングの方向性を探ることとし、各施設の位置と環境、校舎及び各施設・グラウンドの動線などを検討しました。また、各室ゾーニングやクラスルーム及び特別教室、管理諸室の動線などについても意見交換が行われました。





本検討委員会は渡部委員長（日大工学部特任教授）以下、検討委員 19 名（職員、PTA 役員、地区自治会、こども園園長・保護者会）と伊達市事務局 16 名（教育長、教育部関係課、こども部関係課、建設部管理課、支所）で構成されています。その中で資料の説明に併せて多くの質疑に回答するのが当組合担当事務所の(株)杜設計&(有)鈴木設計です。



当日は WC を基に提示した改善案を配布資料及びスライドで説明した後に、提示案に対する質疑が行われましたが、担当事務所は個々の質問・要望に分かりやすく丁寧に答えていました。

今後は再度修正案を示すとともにプランの絞込み作業を行うこととなりますが、資料として 4 案比較表を添付し、検討委員の皆さんがゾーニング、プラン、工事工程、工期、コスト、さらには学習・生活環境、施設管理、周辺環境・景観、地域開放、駐車場、放課後児童クラブとの優劣等を A3 一枚で相互比較できるように配慮していました。実施設計に至る基本設計の大変さを感じた検討委員会でした。

